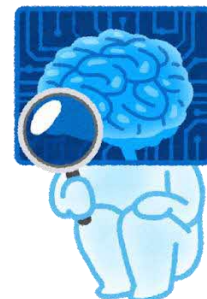




これからの「生成AI」との 上手な付き合い方



生成AI を使ったことはありますか？ 生成AI は勉強や調べものを手伝ってくれる便利な道具ですが、生成AI に頼りすぎると自分のためにならないことがあります。生成AI との上手な付き合い方を考えてみましょう。

➤ 大切なのは「自分で考える力」

生成AI は、分からないことを聞くとすぐに何らかの答えを出してくれます（内容が正しいとは限りません）。でも、いつも生成AI に答えを出してもらっていると、自分で考えることが少なくなってしまう。大切なのは、答えを知ることだけではなく、「自分で考える力」をつけることです。

例えば、身体を鍛えたい人が、自分の代わりに誰かに筋トレをしてもらったらどうなるでしょう。自分は楽ができますが、筋肉は強くなりません。考えることも同じです。生成AI に答えを出してもらっただけでは、自分の考える力は育ちません。



➤ 生成AIは「一緒に考える」道具

生成AI は、考え方のヒントをもらったり、自分の考えを整理したりするための道具として活用してみましょう。生成AI と話しながら考えることで、新しいアイデアや気づきが見つかることもあります。「生成AI に考えてもらう」のではなく、「生成AI と一緒に考える」ことが大切です。



生成AIも人間と同じように間違えます！

生成AI はたくさんを知っているように見えますが、間違った答えを返すこともあります。また、間違えていても自信たっぷりに答えることがありますので、生成AI の言っていることをそのまま信じるのではなく、自分でも考えたり確かめたりしながら、上手に付き合っていきましょう。



【こんな情報は特によく確かめましょう！】

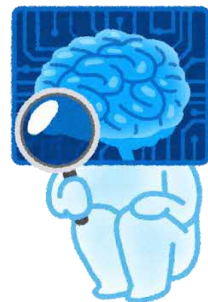
- ☒ 最新のニュースや話題
- ☒ 日付や数字、人の名前
- ☒ インターネット上に情報が少ない話題

「生成AI」と上手に付き合うために 大切なポイント

生成AIは、子どもの学びや調べ物を助けてくれる便利な道具ですが、一方で誤った情報を示すこともあり、使い方には注意が必要です。子どもが安全に活用できるよう、特徴や留意点を理解しておきましょう。

生成AIも万能ではない？

生成AIは、質問に対して、これまで生成AIが学習した大量の文章データや必要に応じて新たにインターネット上から検索して調べた情報をもとに回答を作りますが、その内容を人間と同じように理解していません。また、内容が正しいかどうかを判断しているわけでもありません。もっともらしい説明であっても、誤った情報が含まれることがあります。



生成AIの苦手分野と注意点



生成AIは、数字や日付、人名、最新の出来事など、正確性が求められる情報を扱うことを苦手としています。また、インターネット上に情報が少ない話題では、参考にできる情報が限られるため、誤った情報が含まれることがあります。さらに、これまで生成AIが学習したデータや参照した情報の影響を受けるため、偏った考え方や思い込みが回答に反映される場合もあります。

逆に、文章の要約や情報整理、文章作成などは得意です。多くの情報を整理してまとめたり、分かりやすい表現に言い換えたりすることには向いています。

家庭での指導

今後、子どもたちが生成AIに触れる機会はますます増えていきます。家庭では、生成AIの回答を何でも信じずに「本当にその答えは正しいかな？」「他にも情報はないかな？」と一緒に考えてみる機会を作りましょう。生成AIに直接答えを求めるだけでなく、自分で考えたり調べたりすることの大切さを考えさせることが重要です。

また、利用している生成AIによっては入力した情報が生成AI自身の学習等に利用される場合があるため、氏名や住所、写真などの個人情報を入力しないよう、家庭でも繰り返し伝えてください。

